



文部科学省「情報モラル教育ポータルサイト」

高度情報化社会と言われる現代では、SNSなどの急速な発達により、人との繋がりや情報収集などが容易にできるようになりました。それと同時に児童生徒のインターネットの利用経験や情報リテラシーの不足により、SNSによる事件も後を絶たず、トラブルや問題に巻き込まれるリスクも懸念されております。ますます変化していく社会情勢の中、「何を使い、どのように子供たちを指導すればよいのか」、情報モラル教育の必要性を感じている先生方や悩んでいる先生方も多いのではないのでしょうか。

令和5年4月に文部科学省は、ホームページ上で、情報モラル教育関連を紹介した「情報モラルポータルサイト」を公開しました。高度情報化社会を生きる子供たちに身に付けて欲しい情報モラルに関する資質・能力について取りまとめられておりますので、是非、活用してみてください。



出典) 文部科学省ホームページ

※宮城県総合教育センターでは、様々な研修会が開催されていますが、令和5年5月24日には、情報モラル教育に関する教員の指導力の向上を目的とした「1人1台端末時代における情報モラル教育研修会」が開催されました。研修会では、有識者の先生方をお呼びし、情報モラル教育の在り方について貴重なお話をいただきました。大変有意義な研修会となりました。



国立教育政策研究所
教育課程調査官 渡邊 茂一 氏



静岡大学 学校教育講座
准教授 塩田 真吾 氏



情報活用能力としての
情報モラルを育む指導演習の様子

最新情報

～ 令和5年度 Mナビ TV が始まりました! ～

令和5年度6月から、MナビTV「情報教育チャンネル」にてライブ配信が始まりました。今年も、各担当者が工夫を凝らした番組を制作しています。放送は午後4時から! リアルタイムで視聴できなかった方は、宮城県総合教育センターのYouTubeチャンネルより視聴することができますので、是非、ご覧ください。

配信日	担当者	番組名	主な内容
6/12(月)	情報教育班	情報教育チャンネルの紹介	「MナビTV 情報教育チャンネル」の概要をお伝えする特別プログラムです。番組担当の紹介や番組内容についてお話しします。
6/19(月)	遊佐 賢	GWを使ってみよう season2実践編	With タブレを使った実践例
6/21(水)	三浦 智	ステップ・バイ・ステップ もっと!プログラミング season2	エクセルで校務改善～導入編～
6/23(金)	千坂大輔	いまさら聞けない!ICT活用術!	授業や校務で使えるICT活用術
6/29(木)	赤坂圭介	育てよう!情報活用能力 (小学校 version)	小学校プログラミング教育の概要や実践例



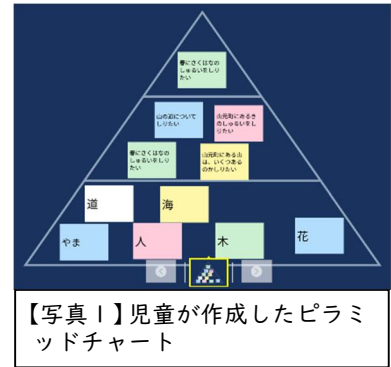
MナビTV
情報教育チャンネル
Google カレンダー

実践紹介
第2回

「With タブレ」を使った授業実践

山元町立山下小学校 原 健一郎 先生

実施時期	4月～6月	教科・領域	総合的な学習の時間(小学校3年)
概要	<p>・主な学習内容や児童の様子 OWith タブレの活用</p> <p>単元名「深山の自然を見つけよう」(20時間扱い)</p> <p>【昨年度までの ICT 活用状況】</p> <p>本学年は2クラスあり、クラスによってICT活用状況に違いが見られた。クラス内それぞれの児童によっても、機器操作(iPad)スキルに差がある。文字入力には、ソフトウェアキーボード(日本語-かな入力)を用い、ロイロノートを活用しながら学習を進めてきた。</p> <p>【本単元での ICT の活用】</p> <p>① 導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深山(学区内の山)の自然環境を把握するため、単元の初めに現地でフィールドワークを行い、春の自然の様子を観察した。 <p>② 課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ○深山の自然についてどんなことを調べたいか、課題設定を行うに当たり、ロイロノートの思考ツールテンプレートからピラミッドチャートを活用した。[写真1] ○使用方法についての説明には、Withタブレの「思考ツール」のページを活用した。児童は、ページ内の説明を読むことで、迷わずピラミッドチャートを作成しながら、課題を設定することができた。 <p>③ 情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童それぞれが設定した課題について調べた。最初は、インターネットを活用すれば、知りたい情報を収集できると考えていた児童が多く、インターネット以外の方法で収集しようとする児童は見られなかった。しかし、実際に調べてみると、画面に表示される内容が3年生には難しかったり、的確な情報を検索できなかったりする児童がほとんどだった。 ○情報の収集方法を再度検討するため、「情報の収集」のページを参考にした。電話を掛けて質問をしたいと考えたグループは、「電話をする」のページを参考に電話で質問をする際の注意事項を確認した。また、児童が探すことができなかった有用なWebページなどの情報は、Classroom を使って児童に伝えた。 <p>④ まとめ・発表(今後の予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめの方法はたくさんあるが、発達段階を考慮し、今回は新聞と模造紙のどちらかを選択して行う。 ○調べて分かったことを、模造紙や新聞に書き写すだけにならないように、「模造紙でまとめる」「新聞でまとめる」のページを参考にレイアウトや記入する内容を検討させる。 		
使用機材 ソフトウェア	<p>児童の端末…iPad、指導者の使用機器…iPad、WindowsPC、電子黒板</p> <p>アプリケーション…ロイロノート、Classroom</p>		
県内の先生方へ	<p>各市町村や学校ごとに、活用している情報端末やアプリケーションが違うと思います。それぞれの良さを指導者が理解し、学習内容ごとに使い分けられるといいですね。そのためには、まず先生方が使ってみる、児童生徒に使わせてみる必要があります。初めは時間が掛かるかもしれませんが、効果的に活用できることを考えると、その時間は無駄にはなりません。積極的に活用しながら、有効な活用方法を探り、みなさんと共有していきましょう。</p>		



【写真1】児童が作成したピラミッドチャート

編集者から

Mナビ新聞-情報教育通信-第16号はいかがだったでしょうか。今回は、情報モラル教育に関する内容をご紹介しました。今後も、ICTを活用した授業づくりを支援する情報を発信していきます。Mナビ新聞では、皆様からのご感想・ご意見・ご要望を募集しております。右記の二次元コードからフォームに記入していただくと幸いです。次号もお楽しみに! (第16号担当:三浦)

